

命をつなぐAED あなたの行動で救える命がある



大丈夫ですか、大丈夫ですか。誰かAEDを持ってきてください。おとし市内で行われたスポーツ大会の最中、大会に参加していた荒牧町二丁目の齋藤敦さんは心肺停止になり意識不明に。前兆はなく、演技ではないかと思うほど突然の出来事でした。異変に気付いた周りの人がとっさにとった行動は、心肺蘇生とAEDの使用。この迅速な判断によって齋藤さんは一命を取り留めました。

「救急車の誘導や呼び掛け、そして救命処置。たくさんの方が私のために行動してくれたそうです。同じ場所に、AEDを使える人がいて本当に良かった」と齋藤さん。

もしも隣の人が突然倒れたら。あなたはAEDを使って、その命をつなぐことができますか。

消防局警防課
027・220・4513

使える人が増えるほど
救える命も増える

AED（自動体外式除細動器）と心肺蘇生で一命を取り留めた齋藤さん。その時、実際に駆けつけた救命士・後閑伸二はこう振り返ります。「救急隊が到着するまでの救命処置がなければ、助からなかったかもしれない。周りの人の勇気ある行動が、齋藤さんを救ったのだと思います」。

救助の際に使用されたAED。心停止状態になった心臓に電気ショックを行い、心臓の動きを正常に戻すこの医療機器は、命をつなぐ装置です。心停止の場合、救急隊の到着を待つだけでは救命率は9・2割。そこに心臓マッサージが加わると16・1割に。そしてさらにAEDを使用することで、54



中央消防署赤坂分署 後閑 伸二



りましたが、あの時AEDが使用されていたらという悲しい事例もいまだに後を絶ちません。「AEDを使うのは難しくありません。誰にでも使えるので、ぜひ勇気を持って行動してください」と後閑救命士。事前に学んだ知識が、いざというときの行動につながります。

10月1日からコンビニに設置 AEDをいつでも使えるように

本市では市有施設に加え、夜間や休日でもAEDを使用できるように、10月1日から市内の24時間営業などのコンビニエンスストア153店舗にAEDを設置。これは県内では初めてです。設置したコンビニの入口付近にはステッカー



に向上するというデータがあります。今ではAEDの設置箇所が増え、使い方を学ぶ機会も多くなりました

を掲示。緊急時には誰でも借りられます。店員に貸し出しを依頼して使用してください。実際に使用するのは皆さんです。設置場所など詳しくは本市ホームページをご覧ください。

●講習受講でもしもに備える

AEDの使い方や心肺蘇生法を学ぶ普通救命講習会を開催します。日時は10月22日(日)午前9時から正午まで。対象は市内在住か在勤の中学生以上、先着30人で、会場は北消防署です。

■10月21日(土)までに同署027・231・0119へ

●地域行事などにも貸し出し

市内で開催するスポーツ大会や地域行事など、非営利の事業を行う団体にAEDを貸し出し。運搬などの実費は自己負担です。貸出期間は7日間まで。申込書は、市保健所内保健総務課で配布している他、本市ホームページからダウンロードもできます。希望日の3カ月前から7日前までに申込書に記入し、市保健所内保健総務課(027・220・5781)へ直接申し込んでください。

大切な人の命を救うために

「自分が倒れてAEDや救命行動の大切さを体感しました。あの経験の後、私は上級救命講習を受けました。自分の近くで誰かが倒れたら、今度は自分が救う番です」と齋藤さん。



突然の心停止で命を落とす人は国内で1日に100人以上います。近くで誰かが倒れることはいつでも起こり得ること。その誰かがあなたの家族だったら、友達だったら、大切な人だったら…。

いつもは気に留めていなかったAEDのこと。救えたかもしれないと後悔する前に、命をつなぐ術を身に付けておきませんか。あなたのその行動で、救える命があります。